

---

# 二番星

シラス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

二番星

### 【コード】

N5092H

### 【作者名】

シラス

### 【あらすじ】

大切な人の心の中に自分の居場所がないと知った瞬間を詩にしました。せめて誰かの心の中に明かりを灯せればいいんですが。

（一番星）

こんなの出すぎた願いなのかな

誰かの一番になりたいなんて

夜空で一番輝く星になりたいなんて

こんな僕が願うのは

僕が一番だった人の空には別の一番星

どんなに僕が輝いても光は届かない

ただ君を照らしたかっただけ

そしてただ君のじゃまをしただけ

僕は雲に隠れるしかなかった

それしか君を照らす方法がなかった

こんなただのわがままなのかな

誰かの心の一番奥に

僕の光で

明かりを灯したいなんて

こんな僕が想うのは

どこかに僕が輝いてもいい夜空はあるのかな

どこかに僕が照らしていい心はあるのかな

星は輝くために生まれてきたんじゃないの

人は愛するため生まれてきたんじゃないの

僕は君に気づかれないように輝く

そうすれば君に嫌われないから

僕は君に気がないふりして生きる

そうすれば君を傷つけないから

こんな僕が輝ける夜空があるのかな

こんな僕が居れる場所があるのかな

僕は一番に輝いてもいいの

僕は誰かを愛してもいいの

こんなの出すぎた願いなのかな

誰かの一番になりたいなんて

夜空で一番輝く星になりたいなんて

こんな僕が願うのは

僕の心の一番奥にいる人の心には

僕の居場所はなかった

ただ君を支えたかった

そしてただ君を傷つけた

僕は離れるしかなかった

それしか君を支える方法がなかった

こんなただのわがままなのかな

誰かの心の一番奥に

僕の光で

明かりを灯したいなんて

こんな僕が願うのは

こんなの出すぎた願いなのかな

誰かの一番になりたいなんて

夜空で一番輝く星になりたいなんて

こんな僕が願うのは

そこに僕はいない

いつの間にか

いや初めから

僕はいなかった

君の心の中

一番あつたかい場所

いつの間にか

いや初めから

君は居座つてた

僕の心の中

一番壊れやすい場所

君の心の片隅

せめて広い部屋の中のゴミ箱ぐらい

僕の居場所があったらな

僕の心のまん中

なんと四畳半の中のコタツぐらい

君が居座ってたのにな

でもそこに僕はいない

たとえここに君がいても

君が嬉しいとき

君が悲しいとき

楽しいとき

寂しいとき

僕はそこにいない

心が砕けちって

破片が涙になって

涙が頬を流れて

また心に染み込んで

いつも君がここにいる

いつの間にか

いや初めから

僕はいなかった

君の心の中

一番あつたかい場所

いつの間にか

いや初めから

君は居座つてた

僕の心の中

一番壊れやすい場所

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5092h/>

---

二番星

2010年11月10日14時41分発行